



札幌市長
あきもと かつひろ
秋元克広



北海道コンサドーレ札幌
おのの しんじ
小野伸二

新春対談

夢見る未来の 実現に向かって

夢を後押しする環境づくりは、子どもたちがより良い未来へ進む一歩となります。今回の特集では、サッカー選手として国内外で活躍された小野伸二さんと秋元市長に、夢をかなえるために大切なことや子どもたちの未来などについて語り合っていました。

詳細 広報課 2023.6
実施日 2024年9月1日
会場 北海道コンサドーレ札幌事務所（豊平区羊ケ丘）
進行 真砂徳子（フリーアナウンサー）

夢を持ったきっかけ

小野 小学校低学年の時に、ワールドカップの試合で活躍するマラドーナ選手のプレーをテレビで見ても自分も見ている人をわくわくさせられる世界一の選手になりたいと思いました。その後、Jリーグ開幕した中学生の時に、はつきりとプロの選手になるという目標ができましたね。

市長 簡単な目標ではないので、実現されたのは本当にすごいことです。小野さんのように、自分が見たことや体験したことが夢を持つきっかけとなる子どもたちは多いと思います。そのため、札幌でもスポーツや音楽など、さまざまな分野の最前線で活躍する方たちを間近で見たり、より近くに感じたりできる機会をつくってあげることが大切だと思います。

小野 いろんなことに挑戦してみると、何が自分に合うのかが分かってくると思います。サッカーに限らず、まずは自分が楽しいと感じたものから夢や目標を見つけて、その夢を広げていってほしいですね。

サッカーを通じて大切にしていたこと

小野 プロとして勝利に向かってプレーすることはもちろん、また観戦したいと思ってもらえるような見ている人が想像できない楽しいプレーを心がけていました。また、こうやって僕が頑張ってきたのは、周りの環境や支えてくれた人たちのおかげだと思っています。だからこそ、周囲への感謝の気持ちをいつも大切にしてきました。特に、母への感謝が年齢を重ねることに増えましたね。僕は10人きょうだいで、育てるためにいろんなことを犠牲にしてくれたのだらう。2023年に他界してしまいましたが、もっと長く親孝行したかったなという思いがありますね。

市長 日本だけではなく海外のリーグでも活躍されていたことは、きっとお母様も喜ばれていたと思います。私たちは、支えてくれる人がいるからこそ、さまざまなことに挑戦できます。その環境をつくってくれる人々への感謝の気持ちを忘れてはいけませんよ。

外の世界を知る大切さ

市長 国内外のさまざまな場所
で暮らしていた小野さんから見
て、札幌の印象はどうですか。

小野 空気がきれいで、街の中
に大通公園のような豊かな自然
を感じられる場所があるのがす
てきですね。そして、ファミ
リー感と優しさにあふれた温か
い人が多いのも札幌や北海道の
良さだと思えますね。一方で、
切磋琢磨できる環境がもう少し
あると、より良くなるのかなと
も思います。

市長 確かに道外から来た企業
の方からも、東京などと比べる
と競争の場が少なくて現状に満
足してしまうことがあると聞き
ました。自分を高めるためには
外の世界から刺激を受けること
も大切ですね。札幌市では、
姉妹都市であるアメリカのポー
ランド市と高校生同士での交
流などを行っています。そのよう
な海外の方との交流をはじめ、
広い視野で物事を見る機会を

もっと増やして、子どもたちに
は、自分のさらなる可能性を
探ってほしいと思いますね。

小野 僕も、小学生の時にサッ
カー少年団の活動で韓国での
ホームステイや他県の人たちと
交流した経験があります。そう
いった普段とは違う体験やさま
ざまな人との関わりが新たな発
見につながり、視野を広げてく
れましたね。

現在行っている活動

市長 小野さんは引退されてか
ら、主にどのような活動をして
いますか。

小野 今は、小学生向けに、サッ

カーの楽しさと気候変動の現状
を知ってもらう活動をしていま
す。このままだと、そう遠くな
い未来に、気温が上がり過ぎて
屋外でサッカーができなくなっ
てしまうかもしれないですから
ね。僕自身も勉強中ですが、こ
れからのためにまずは身近なで
きることに取り組んでいこうと、
話をしています。

市長 猛暑や豪雨の影響によっ
て屋外でスポーツができなくな
ってしまつと、そのスポーツに
関わる夢を持つのが難しくな
ることも考えられますよね。子
どもたちが持てる夢の選択肢を
減らさないためにも、現在の環

いるだけか、知った上で行動す
るかでは大きく違います。実際
に行動へ移すかどうかは、僕の
言葉を聞いてくれた人たちが第
一になりますけど、地球環境を
守るために取り組んでもらえる
ように、僕にできることを続け
ていきたいなと思っています。簡
単ではないと分かっていますが、
今の子どもたちや未来の子ども
たちが活躍できる環境を残して
いきたいですね。

これからの夢

市長 小野さんのお話を聞いて、
子どもたちに夢や目標を持って
それを実現してもらうには、さ
らに多くの挑戦や体験ができる
機会をつくるとともに、未来の
ためにも地球環境を維持してい
くことが大切だとあらためて感
じました。

小野 子どもたちの可能性が広
がるきっかけとして、いろいろ
なことを経験するのが大事な
ので、多くの挑戦や体験ができ
る機会は、できれば小学生ぐら

の早い年齢のうちにあれば良い
のかなと思います。

市長 多くの選択肢の中から自
分のやりたいことを見つけて、
夢の実現に向けて行動できるよ
うに後押しをしていきたいです
ね。その上で、健康や環境に関
する社会課題などを一緒に解決
したり、みんなで街全体を盛り
上げたりして、一人一人の気持
ちも豊かになるような、次世代
へ続くまちづくりを進めていき
たいです。最後になりますが、
これからの小野さんの夢は何で
しょうか。

小野 見ている人をわくわくさ
せるようなサッカー選手がたく

さん出てきてほしいですし、サッ
カーの楽しさを伝える活動の中
で、子どもたちがより人間性を
高めていくきっかけもつくって
あげられたら良いなと思ってい
ます。ささやかながら、子ども
たちが未来を切り開いていく手
助けをこれからもしていきたい
ですね。

市長 札幌で子どもたちが
自分らしく活躍できる環境
をつくっていくことも、私
の使命だと思っています。
将来的に、小野さんのよう
な、世界で活躍する子どもたち
が増えていくことにも期待した
いですね。



お年玉 サイン色紙とボールを 各5人にプレゼント!

応募方法 はがき、ファクス、Eメール、
ホームページ。色紙かボールの希望する
プレゼント名、住所、氏名、年齢、電話番
号、本誌の感想を記入し、1/22(水) (必
着)までに広報課(1ページ)へ。抽選



小野伸二さん

静岡県出身。国内外のチームでプレーし、2014年に
北海道コンサドーレ札幌へ加入。2023年12月の引
退後は北海道コンサドーレ札幌の「One Hokkaido
Nexus Organizer (O.N.O)」へ就任し、サッカーの
魅力を伝える活動をするなど活躍中。